



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036
代表TEL：(0567)26-3921
FAX：(0567)26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

2009 夏の宴を終えて・・・/S・O・S

盃蘭盆経



夏の宴はお盆期間だから意味がある

浴衣に着替えて踊らにゃそんそん



踊



流しそうめん 老若男女問わず大好評

食

8月14・15日、“2009夏の宴”を盛大に終えることができました。今年はいくまでの経験と反省から、通所介護をお休みにし、定員に関係なく訪問介護の利用者さんにも来ていただけるよう積極的に声をかけさせていただきました。お陰さまで沢山の笑顔の溢れる楽しい宴になったことを感謝いたします。スタッフ一同、今後も「笑顔・元気・感謝」の言葉を忘れず頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

笑顔・元気・感謝



和太鼓演奏 大喝采！！

響



童心に返ってもいいでしょ！？

遊



どれが誰だか分からない 変身ぶりを見て！

歓



驚

インフルエンザが流行しており、当社にも市や県からインフルエンザに関する通達が届いています。必要以上に怖がる必要はないものの、予防をすることはとても大切。くしゃみや咳をする時はマスクや口を塞ぐことの大切さを説明し、手洗いやうがい、消毒を行っています。更に、栄養や睡眠もしっかり取り、感染防止に努めていきましょう！

予防はしっかり/S・O・S



地域交流/S・O・S

地域交流を深めるために定期的にボランティアさんの催しものを開催しています。今回は初のシルバーウィーク記念としてS・O・Sでささやかながらオカリナ&フラダンスショーを開催します。
日時 9月23日(水) 午後2時～3時頃
場所 愛宕の家

再開しました/ナイス・ホーム

9月1日、小規模多機能型居宅介護ナイス・ホームを再開しました。津島市への報告も行き、今只登録者さん募集中！！
ナイス・ホームに登録契約すると、1箇所の事業所なのに、通い・泊まり・訪問・ケアマネの4種の活用ができますよ。この地域で馴染みの関わりを持ちたい人にはお勧めです。

編集後記

「地震・雷・火事・親父」という言葉があります。怖いものの代表ですが、この中で「親父」とは父親の意味でなく、台風を意味する大山風(おおやまじ)が変化して「おやじ」と呼ばれるようになったと最近知りました。全て人間の力で防ぎようのない天災です。今年は伊勢湾台風からちょうど50年。この辺りも大きな被害があったと聞きます。出来れば何も起きて欲しくはないですが、いざという時の為に避難経路の確認や避難用品の準備をしておかねばと考えます。次の休みには数年前から入れたままになっている避難袋の中身を確認し、常備食の賞味期限も確認することにします。持病で薬を飲んでいる人は処方箋のコピーも入れておくのと良いらしいですよ。(M)

老いの姿を学ぶ～愛宕の家の日々より～ その7

「共感」・・・相手の感情に対し関心を持ち、その感情を自分のこととして感じ取り相手を理解すること。些細なことが感情爆発のきっかけとなってしまうため、愛宕の家の住人ができるだけ安楽な日常生活を維持・継続できるようにするためには、座る場所や物の置き方など細かな配慮が常に必要である。

要介護者の行動や気分は、その人の体調や周囲の環境に大きく作用される。特に認知症といわれる人の多くは、今、その瞬間の自分の感情をありのままに表現する。例えば、つい先程まで穏やかだったのに、急に目の前の人に喰ってかかる場合がある。何が急にそうさせたのか、周囲は理解できない。「さん、どうしたの？」と心配する。「いきなり何言っとるんだ！！」とバトルが始まる。等々、同じ場所に居る人の性分によって雰囲気は一変してしまうこともよくある。しかし、中に入って善悪の采配は通用しない。一人の混乱が始まると、いと簡単に、その周囲までも混乱の渦に巻き込む。そうすると拍車がかかり当の本人は更に混乱を深め、八つ当たり状態になってしまい、手のつけようが無い。介護者としては、どうすべきか・・・

この状態になる以前に危険を察し、その人の感情の動き、気配を読み取り対応するという素晴らしい配慮が出来ていれば、その状況は回避できる。無理だった場合、「あちゃ」と一瞬反省する。そして、言葉で理由を問いただすのではなく、また、なだめるのではなく、周囲の人が不快にならないように、すったもんだしながら本人を別の空間に移動させるしかない。または周りの人に別の場所に移ってもらおう。そして、「そうか、そうか。」とその本人の感情に寄り添う。時には本人のその時の感情を同じように理解し、一緒に何かを攻めたりする。本人は自分の仲間を得たように安心して話し始めたら、穏やかさを取り戻すまで、後は待つのみ。道理やつじつまが合わないことは分かっているが、今、そのときの感情に寄り添うことを最優先するためには、「受容と共感」する態度が、介護者として最も重要な資質である。(！)

体の仕組みを知り、理にかなった体の使い方を学ぶ“フィジオテンドラーニング”をスタッフ3人が受講しました。体の重心(おへその下:丹田)を意識しながら正しい立ち方・座り方を体感し、体がリラックスする方法を学び、後日、社内研修で他のスタッフにも実践研修をしました。体の重心を意識するだけで、背筋がシャンとして姿勢が良くなったような気がします。

骨格を知る/S・O・S



昔を思い出す/ナイス・デイ

靴の中に、いつも昔の写真を入れているTさん。写真の中には今よりふっくらした若々しいTさんが、旅先で笑っています。「これ誰？」の問いに「私だが～」と即答。時々、今居る場所や周りのことが理解できず不安な表情の時もありますが、昔を思い出して話をする顔はとても輝いています。たまにはタイムスリップして昔の自分に会うのもいいかもね！



さぁ、歩こう！/愛宕の家



入居者さんの身体状況や必要性を考慮し個々に介護保険等のサービスを利用しています。通所介護、訪問介護、訪問リハビリ...使い方や過ごし方は多様です。この日、ヘルパーの介助でリビングから部屋まで歩くことが出来たSさん。「頑張る」の声かけに「おう！」と元気な返事が愛宕の家に響きました。